

## DV被害者支援の実態に関する調査について（令和3年度分）

## 1. 調査の概要

姫路市では、姫路市配偶者暴力相談支援センターを利用したことがあるDV被害者のうち、現在安全が確保されている女性を対象に、どのような支援を受け、どのように感じたか等についてアンケート調査（郵送）を実施した。

○調査時期  
令和3年5月  
○調査方法  
アンケート調査（郵送）  
○調査協力者数  
3名（被依頼者3名）

	Aさん	Bさん	Cさん
1. 当時、どのような被害がありましたか。	D 経済的暴力 E 社会的暴力 F 子どもを利用した暴力	A 身体的暴力 B 性的暴力 C 精神的暴力 D 経済的暴力 E 社会的暴力	A 身体的暴力 C 精神的暴力 F 子どもを利用した暴力
2. DVを受けた期間について。	D 1年以上～5年未満	D 1年以上～5年未満	D 1年以上～5年未満
3. 自分の受けた行為が、DVと気づいたきっかけは何ですか。	A 友人からの示唆、指摘 G 姫路市配偶者暴力相談支援センター相談員からの助言	無記入	H その他（ポスター、TVなどで知っていたので気付いた）
4. その被害について、姫路市配偶者暴力相談支援センター以外に利用された相談機関はどこですか。	A 警察 C 兵庫県の婦人相談所（シェルター） E 姫路市役所（生活援護室、こども支援課など） F 法テラス	A 警察	A 警察 C 兵庫県の婦人相談所（シェルター） E 姫路市役所（生活援護室、こども支援課など） F 法テラス I 家族や親戚
5. 配偶者からの暴力についての証明書の発行について、発行を依頼したものは何ですか。	A 児童手当の受給者変更 B 社会保険の離脱 C 年金事務における支援措置（受給者番号の変更）	無記入	A 児童手当の受給者変更 C 年金事務における支援措置（受給者番号の変更） E その他（国民健康保険加入、保育所入所）
6. 被害からの回復について （ア）「落ち着いてきた」と思えた時期はいつですか。	B 6か月後	B 6か月後	D その他（夫と離れて引越し後）
（イ）「回復した」と思えた時期はいつですか。	C その他（まだ）	無記入	C その他（離婚ができていないのですっきりせず、回復はまだできていない）

	Aさん	Bさん	Cさん
7. 子どもに関する相談及び面会交流 (ア) 子どもに関して相談された先はどこですか。	A 子ども家庭センター D こども支援課	無記入	D こども支援課 E その他(家族)
(イ) 面会交流はされていますか。	A している(2か月に1度)	無記入	B していない
8. 相談事項や、市等の関係機関へのご意見やご要望について (ア)被害を受けていた時の状態について A 相談をする原因となった事柄について、どのような支援を求めたいと考えておられましたか。また、その希望は、どの程度叶いましたか。	無記入	無記入	・暴力について処罰してもらい、夫とは離れたかった。 ・警察で処罰されたことで正当に離れられたと思う。
B DV被害をもっと早く把握するために、市などの機関がどのようなことに取り組めば良かったと思われますか。	無記入	無記入	・被害者からの訴えやよっぽどのことがない限りDVを把握することは難しいと思いますが、分かってからの情報提供や助言、方向性など ・市の機関はとてもよく示してくれたと思う。
(イ) 現時点の状況について A 今も思い出すことがありますか。	無記入	無記入	・調停のことも視野に入れて夫の言っていたことを整理しようと思いついて今も暴言を思い出すことがあります。
B 現在相談したいことはありますか。また、相談できる市等の機関はありますか。	無記入	無記入	・今は離婚に向けて姫路市の弁護士さんに相談しているところです。
C 市のDV相談支援センターや関係する機関に要望したいこと、ご意見などがあればお聞かせください。	・すみません。これ以上は思い出すがまだつらいです。お力になれず申し訳ありません。皆様のおかげで現在なんとか3人笑顔で過ごせるようになってきています。まだまだ不安なことばかりですが、親子3人がんぼりたいです。ありがとうございます。	無記入	・警察やDV相談支援センターの方がこんなにも親身に力強く支援してくれるとは思っていませんでしたのでびっくりしました。こうした方がいとアドバイスしてもらえたので本当に助かりました。役所手続きも一緒に回ってもらえたので助かりました。